

# NIEで新聞づくり

## 北海道新聞

### 号外

2005年  
9月9日 金  
発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711  
札幌市中央区大通西3丁目-6  
電話 011(221)2111  
NIE推進センター  
電話 011-210-5802  
ホームページ  
www.doshin-nie.com  
フムフム館  
〒061-1274  
北広島市大曲工業団地8-2-1  
電話 011(370)3737



道新釧路支社を見学する教育大生(8日午後)

## 釧路大で初の試み 道新釧路支社を見学

二〇〇五年九月八日、北海道教育大学釧路校の学生一四名が北海道新聞釧路支社を見学した。

同校では今年から「NIE(教育に新聞を)」の活動に基づいた講義を新設。その講義の一貫として、北海道新聞社札幌本社、矢島収氏を講師に迎えての新聞社見学である。

今回は主に新聞ができるまでの課程を見学。釧路支社内にある印刷所を一時間程回った。

まずは輪転機にかける際の原盤となる刷版というアルミの板を製作する製作部を見学。新聞の紙面は本社からサーバーを通じてフィルムとして送られる。それを板に焼き付ける作業は手動で行われる。そのため、一番人の手間をかけている。

次に見たのは支社の一階から三階までを占める大きな輪転機。釧路支社の輪転機は最大四〇ページ、カラー印刷は八ヶ面刷ることができ、また一時間で二一〇万部刷ることが可能だ。輪転機は大きなロール状の機械が連なっており、一つに刷版をつけ、そこにインキとアルカリ水を含め、紙に染みこませる構造になっている。

カラーインキはこのロールが衛星状に繋がって、順に色をつけていく仕組みになっている。この仕組みに学生たちは興味津々といった様子で機械を見入っていた。こうして印刷

現在新聞はカラー化が進んでおり、印刷技術も進歩してきている。釧路支社工場も二〇〇七年には新しい印刷所になるという。最新の技術や新聞ができるまでの課程を見て、感心した学生も多いようだ。(中島菜津美)

### 北海道新聞報道部記者

#### 片岡 麻衣子さん

片岡さんは、北海道新聞社釧路支社の数少ない女性記者の一人である。紙の新聞社を受けるが、全滅。半年間の就職浪人

と三年間の業界紙の記者を経て、全国の新聞社を受けるが、受かったのだと答えた。

#### やつとつかんだ夢

彼女は、嫌なことがあったらすぐに同僚に愚痴り、酒を飲み、忘れる。ストレスは溜まらないらしい。



二年の頃。「昔からマスコミに好奇心旺盛で、色々な世界と触れられるから」と志望理由を語った。しかし、彼女の新聞記



今後の目標について彼女は「今興味ある一次産業に関する記事をたくさん書くこと。埋もれている事実を掘り起こし、多くの人に読んでもらうこと」と力強く、気合に満ちた口調で語っていた。(井出晃人)